

平成29年度事業報告書

概要

定款に則り事業を行い、29年度を終了した。

期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

また、公益法人であったときの資産を公益目的に使用しなければならない「公益目的支出計画」も予定通り4年で消化し、内閣府へ報告書を提出の結果、確認書を得た。

1. 会員及び飛行訓練事業

- ①日本飛行クラブ 個人会員 45名 団体会員 1
- ②記念品送付 パイロット手帳
- ③飛行訓練 アイベックスアビエーション(株)に委託

2. 会報発行事業／「エアロンカ」隔月発行 計 6回

航空安全を啓蒙する記事を中心に、航空に関する最新情報や、赤十字飛行隊活動報告、飛行に関する体験記などを掲載し、5月、7月、9月、11月、1月、3月の年6回発行した。

また2017年9月号よりカラー印刷に変更し、印刷会社も変更して会報を一新した。

3. 飛行場運営事業

①大和根飛行場

全体としては多くの団体及び自家用機等に飛行場を提供して、スポーツ航空の発展に寄与した。また例年通り事故防止に努め、騒音対策飛行ルートにも更に留意し、滑走路の整備、草刈りなどの環境整備にも力を注いだ。その他、河内町の行事に飛行場を提供して地元民との交流を図った。

しかし10月に入り台風21号が来襲、23日未明に冠水し、飛行場は3週間余りで運航を再開したが草地の乾きが遅く、飛行場全体の復旧にはかなりの期間を要した。

- ・常駐機：飛行機12機 滑空機8機 (30/3 現在)
- ・メールによる飛行場情報配信
- ・防衛省用パラシュート開発に飛行場提供
- ・無人飛行機等のテスト飛行 (3回)
- ・CM撮影等への貸出 (3回)

②三保飛行場

自家用機の常駐は無くなったが、近年、災害時に於ける活躍が注目されている無人飛行機のテスト飛行の場として、年間を通じて使用された。

- ・無人飛行機テスト（14回）
- ・CM撮影等への貸出（6回）
- ・公共機関への飛行場提供（通年）

国土交通省中部地方整備局中央防災会議

静岡県警察航空隊：防災訓練

海上保安庁：地震災害、海難救助及び救援物資輸送訓練

静岡県消防防災航空隊：地震災害、海難救助及び救援物資輸送訓練

静岡市消防防災航空隊：地震災害、海難救助及び救援物資輸送訓練

静岡市消防局日本平消防署三保出張所：放水訓練等（エプロン提供）

4. 赤十字飛行隊運営事業

隊員 新入会：4名 退会者：14名 合計123名

①全国支隊長研修

日時：平成29年11月18日

場所：日本赤十字社 本社会議室

出席者：27名

内容：(1)日本赤十字社による感謝状授与

・年度感謝状：17名

(2)各支隊活動報告：出席支隊全員

(3)29年度ボランティアリーダー研修会参加報告：奥貫博

(4)熊本支隊防災功労者大臣表彰受賞報告：新永隆一

(5)その他懸案事項検討

②-1 ボランティア活動

| 内 容 | 時 間 | 機 数 | 出 動 人 員 |
|--------------------|---------|-----|---------|
| 血液輸送、被害状況情報提供 慰霊飛行 | 48 + 13 | 38 | 122 |
| 医薬品搬送、防災訓練、展示飛行 他 | | | |
| 合 計 | 48 + 13 | 38 | 122 |

③その他 隊長による各支隊巡回講話や、自衛隊基地との連絡会に参加した。

5. 航空知識向上事業

1. 航空安全講習会2回開催

(1) 実施日：平成 29 年 12 月 9 日（土） 13:00 ～ 17:00

場 所：調布飛行場ターミナル会議室

参加者：24名

内 容：講師：吉田 徹 ・最近の変更点

奥貫 博 ・離着陸の危機管理

(2) 実施日：平成 30 年 1 月 13 日（土） 13:30 ～ 17:00

場 所：取手ウエルネスプラザ セミナールーム

参加者：34名

内 容：講師：佐々木 匡 ・最近の変更点及び過去の事例に学ぶ

藤沼敏弘 ・NAVPlan を考えてみよう～隣は何をする人ぞ

6. 「調布飛行場友の会」事務局

平成 26 年に発生した調布飛行場の事故のため、現在休止中

以上